



# の が き 野垣あきこまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2023年8月9日 No.160 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

まちづくりに住民意見を!

## 下井草駅周辺まちづくり 将来交通のあり方を考える

### 将来交通のありかた(案)



「将来の交通のありかた」に  
鉄道連立は関係ないのか？  
展示には、西武線と道路の連  
続立体化について「構造形式(高

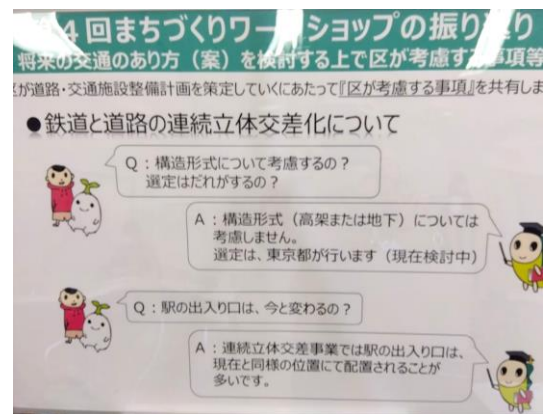
架または地下)については考慮  
しません。選定は都が行いま  
す。」とあります。野方く井荻間  
の連続立体交差化の構造形式は  
未定ですが、私は何年も前から  
住民の地下化を求める要望を区  
に届けていますし、考慮しない  
で計画は作れないと思います。

また、「鉄道敷地部分は原則鉄  
道事業者が使用するため自由に  
利用することはできません。」と  
も書いていますが、鉄道連続立  
体交差化が済んだ他の路線で  
は、鉄道跡地を公園や商業施設、  
駐輪場などに活用しています。

杉並区は8月4〜5日、八成区民集会所で「第4回下井草駅周辺  
まちづくりオープンハウス」を開催しました。  
区は、昨年12月から「下井草  
駅周辺まちづくりワークショップ  
」を4回開催。駅周辺の将来イ  
メージ案(左)を提示しました。  
この案に対しての住民意見を  
聴取し、今年度末に「下井草駅周  
辺の道路・交通施設の整備に関  
する計画」を策定するとしてい  
ますが、どれも不十分だとの意  
見が寄せられています。

また、「鉄道敷地部分は原則鉄  
道事業者が使用するため自由に  
利用することはできません。」と  
も書いていますが、鉄道連続立  
体交差化が済んだ他の路線で  
は、鉄道跡地を公園や商業施設、  
駐輪場などに活用しています。

下井草駅周辺でも広場やロー  
タリーを設置する必要があるの  
であれば、線路の跡地活用を考  
えることはまちづくりの重要な  
課題ではないでしょうか。



▲なんのためのまちづくり？

夢のあるまちづくりを  
住民からは、道路や鉄道  
は都との調整が必要だから  
何年も前から地下化などを  
要望してきたのに、できな  
いという説明だ、3案の中  
から区の最終案が決まるの  
か、との声があります。  
計画を急がせるために制  
約を展示するのではなく、  
区民意見を反映し利便性を  
高める努力をすべきです。

核兵器のない世界を！

# 原水爆禁止署名運動発祥の地・杉並から 夏の平和の取組

世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、「杉並区平和都市宣言」を行ってから、今年で35周年。この夏の平和の取組を紹介します。  
**「あの日、ヒロシマまで」マンガを通し原爆被害を伝える**

中央図書館では平和展が開催されています。被爆者は年々高齢化しており、被爆の実相を子どもや若者にどう伝えていくかが大きな課題となっています。

今回、杉並区が「あの日、ヒロシマまで」という漫画を通して被爆体験を伝えることに、私は大きな意義があると感じています。作者の「さすらいのカナブン」という方は、広島県出身・在住の被爆3世だそうです。



▶杉並区広報課のツイッターより  
(※右上の画像は被爆者の西尾さん)

7月15日の広報すぎなみの一面では、被爆体験を語り継ぐ杉並光友

会（原爆被爆者の会）の西尾睦子さんが紹介されています。

「世界で3回目の原爆投下は絶対にならない、そう信じて体験を伝え続けたい」というインタビュ動画がYouTubeチャンネル杉並区公式チャンネルで配信されています。右のQRコードからご覧ください。



## 岸本聡子区長が原水禁世界大会・長崎に連帯メッセージ

岸本区長は8月8日、長崎で行われた原水爆禁止世界大会に連帯のメッセージを寄せました。

ウクライナ情勢におけるロシアの核威嚇を見れば核兵器は平和を守る道具ではなく他国への脅しに使う武器だとわかる、日本が核兵器禁止条約に背を向けていることは残念で恥ずかしい、核保有国や「核の傘」の下にいる国々でこそ核廃絶の運動が必要です、(要約)と述べています。

## 保険証廃止・マイナンバーの強制やめて！署名にご協力を！

ご自宅に署名用紙をお届けしますので、ご連絡ください。回収にも伺います。



野垣あきこ地域学習会

## ビルマ(ミャンマー)はどんな国？



8月27日(日)15時半～  
井草地域区民センター

資料代 200円

杉並在住のミャンマー人ご夫妻が講師です。

## あきこの部屋

争する国づくりに対し、エンターテインメントで立ち向かう、ジブリ魂を感じる作品です。「君たち」とは少年少女だけでなく、大人の私たちにも向けられているのではないのでしょうか。



ジブリの最新作「君たちはどう生きるか」を観ました。タイトルは吉野源三郎の小説と同じですが、ストーリーはオリジナルで考えさせられる作品でした。久しぶりに少年が主人公です。戦争の時代で「階級」を感じさせたり、若者が生き方を考えるような内容ですが、ファンタジーな場面もあり、世界観にぐんぐん引き込まれていきます。タモリが「新しい戦前」と言っていたように、岸田政権の進める戦